様式１－１

令和 年 月 日

物品無償借入れ申請書

東京大学医学部附属病院長 殿

科(部)名

科(部)長 印

下記の物品を借入れたいので、ご承認方お願い致します。

記

1. 物品名（規格）及び数量

1. 薬機法による承認番号：
2. 物品の評価額（実売価格）： 円（税抜）
3. 借入れ期間

令和 年 月 日 より　令和 年 月 日 まで

1. 使用者： 科(部)名

役職氏名 内線番号

メールアドレス

設置場所：

1. 借入れ相手方： 会 社 名

住 所

契約権者役職氏名

担当者所属氏名

電話番号

メールアドレス

「医療機器業における景品類の提供の制限に関する公正競争規約」への参加

□参加している　（→７以降へ）　　□参加していない　（→９以降へ）

1. 借入れ理由

□　①デモのため。

□　②臨床試用のため。

□　③研究のため。

□　④緊急時（含む災害時）対応のため。

□　⑤事故・故障対応のため。

1. 新規医療機器導入時研修　　□要　・　□不要
2. 本申請以外で申請・許可・承認等が必要となる場合は、手続き内容を記載。

1. 借入れに伴う所要経費（見込額）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品 　 名 | 数量 | 単価 | 所要額 | 備考 |
|  |  | 円 | 千円 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合 計 | | |  |  |

11.借入れを必要とする理由：

【1.状況説明】

【2.借入れ機器の特徴】

【3.消耗品の扱いについて】

**記　入　例**

令和 年 月 日

物品無償借入れ申請書

診療科（部）長名で作成してください。

東京大学医学部附属病院長 殿

科(部)名 ○○○科

科(部)長 印

下記の物品を借入れたいので、ご承認方お願い致します。

1～3、6について、事業者に確認の上記入ください。

記

1. 物品名（規格）及び数量

1. 薬機法による承認番号：
2. 物品の評価額（実売価格）： 円（税抜）

「7.借入れ理由」に応じて最長期間が変わります。

1. 借入れ期間

令和 年 月 日 より　令和 年 月 日 まで

1. 使用者： 科(部)名

役職氏名 内線番号

メールアドレス

設置場所：

1. 借入れ相手方： 会 社 名

住 所

契約権者役職氏名

担当者所属氏名

電話番号

メールアドレス

「医療機器業における景品類の提供の制限に関する公正競争規約」への参加

□参加している　（→７以降へ）　　□参加していない　（→９以降へ）

1. 借入れ理由

該当するものを一つだけ選択ください。

□　①デモのため。

□　②臨床試用のため。

□　③研究のため。

ＳＰＤに登録のない特定保健医療材料については「新規特材のため医事コード申請中」として、別途手続きを行ってください

ＭＵＬＩＮＳの医療機器管理担当をご参照のうえ、選択ください。

□　④緊急時（含む災害時）対応のため。

□　⑤事故・故障対応のため。

1. 新規医療機器導入時研修　　□要　・　□不要
2. 本申請以外で申請・許可・承認等が必要となる場合は、手続き内容を記載。

1. 借入れに伴う所要経費（見込額）

**ＳＰＤに登録のない特材**については**JANコード、償還価格の記入必須**。

診療科負担分については記載不要。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品 　 名 | 数量 | 単価（税込） | 所要額 | 備考 |
| バーデックスバイオキャスフォーリーカテーテル  JANコード： 4987664011121 | 7 | 4,532円 | 32千円 | 償還価格： 4,610円 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合 計 | | |  |  |

11.借入れを必要とする理由：

以下の3項目を踏まえて説明すること

1.借入れに至った状況説明

2.借入れ機器の特徴

3.消耗品の扱いについて

例

【1.状況説明】

○○科では○○の診療を行っており、○○の値を検査するための機器を使用している。既存機器は購入から〇年経過しており、故障が増えたことで診療に支障をきたしていることに加え、修理費用もかさんでいる。また、性能としても現在市販されている機種と比較して大きく劣ることから、機器の更新を検討するにあたり、無償貸借により候補機器を試用したい。

【2.借入れ機器の特徴】

今回借入れ予定の○○は、○○自動検出機能を有しており、担当技師の負担が軽減できるのみならず、処理能力についても既存機器と比較して約1.5倍となっている。時間当たりの検査可能数は患者受け入れのボトルネックとなっていたが、これが改善されることにより病院の収入増にも貢献できると考える。

【3.消耗品の扱いについて】

本機器の試用にあたっては、○○の消耗品が必要となるが、既存機器と同じ規格であるため、ＳＰＤから入手可能であり、新たな費用は発生しない。

・○○の消耗品が必要となるが、ＳＰＤで取り扱いがなく、特定保険医療材料にも当たらないため、診療科負担で購入する。

・本機器は光学機器であり、消耗品は使用しない。

・事業者から提供される5サンプルで賄えるため、消耗品費は発生しない。

・研究目的のため、発生する消耗品については研究費から購入する。